

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月23日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-------|-------------------------------------|-------|-------|-----------|--------------|
| 団体名 | 公益財団法人 岐阜県建設研究センター | | | 代表者名 | 宗宮 裕雄 |
| 担当者部署 | 建設ICT人材育成センター | | | 連絡先電話番号 | 0584-71-7001 |
| 担当者役職 | 人材育成担当チーフ | 担当者氏名 | 中島 紀代 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 503-0807 岐阜県大垣市6-52-18 ワークショップ24 4階 | | | | |

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

| | | | | | |
|-------|-------|---------|--------------|-----------|--|
| 団体名 | 岐阜県 | 連絡先部署 | 県土整備部建設政策課 | | |
| 担当者氏名 | 中島 紀代 | 連絡先電話番号 | 058-272-1111 | 連絡先E-mail | |

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|--|
| アドバイザー | 安江 輝 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | <ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティに関して伊那市で実践されている事例の数々を紹介していただいた。 ・話し方が大変わかりやすかった。 ・講演の内容から、まちづくりのDXが未来の話ではなく、実現しうるものになっていることを学ぶことができた。 ・DXというと、都市部での取組みととらえられる向きもあるが、「そこに人が住み続けられるようにする」ことを考えなければならぬ地域でこそ真剣に取り組んでいかなければならないことを学べた。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 特になし |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | 派遣日 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間(分) | 活動時間(分) |
|-----------|-------------|-------------------------|--------|------------|---------------|
| 3-1. 活動 | 2021年12月22日 | 15時10分 | 16時30分 | | 80 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | みんなの森 メディアコスモス | | 最寄駅 | JR岐阜駅または名鉄岐阜駅 |
| | 所在地 | 〒500-8076 岐阜県岐阜市司町40番地5 | | 最寄駅からの交通手段 | バス |
| | 派遣形態 | 講演(実地) | | | |

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

| | |
|------|--------------------------------------|
| 掲載許可 | <input checked="" type="radio"/> 掲載可 |
|------|--------------------------------------|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|--|---|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 | 人数 |
| | 行政職員、建設関係業者、一般 | 66人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) | まちづくりにおけるデジタルトランスフォーメーション(DX)をどのように進めたいのか、何ができるのか手探り状態の自治体が多い。 | |
| 支援により目指す成果(具体的にご記入下さい) | DXの実践例を知ることで、自らの地域での取り組み方を考えることができるようになること。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい) | 「伊那市DXしあわせのまち宣言」と題してテクノロジーを活用したまちづくりについて講義していただいた。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい) | まちづくりにおけるDXに対する理解と意識の向上がなされた。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | <input checked="" type="radio"/> 途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください) | 本件の目的である、まちづくりのDXに関する自治体職員の意識向上は達成された。今後は、各自治体の現状に沿った取組みが進められることを期待する。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 聴講者の満足度については5段階評価(5が最高)で平均4.6と非常に高く、講演時間や難易度についても適当という回答が大半を占めた。 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | <input checked="" type="radio"/> その他 |
| 事業の最終的な目指す姿 | 岐阜県内行政職員をはじめ県民が当講演会にて学んだことから、自らの地域でどのようなDXをどのように進めていくのかを具体的に考え事業化・実装を図る。 | |

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

